



新年あけましておめでとうございます

今日は何の日??

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機として、毎年1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までは「防災とボランティア週間」と定められました。

目的は、ボランティア活動への認識を高め、災害への備えの充実強化にあります。

- 「自分は、大丈夫・・・」なんて過信していませんか？ “家や周囲も点検を！”
- 被害にあわないためには、日頃からの心構えと準備が必要です。 “自分の身は自分で守る！”
- 既に準備している方も食料品や医薬品の期限を再確認し、食料は3日分を用意しておきましょう！！

災害ボランティアの心構え（前号からの続き）

前回は、災害ボランティアとして活動するためには、被災した人のための活動だということを意識することが必要と述べました。今回は、災害ボランティアに行くために必要な準備について考えていきます。

災害ボランティアに行く際には、事前に様々な情報を調べておく必要があります。災害ボランティアの熱中症はその最たる例であり、かえって作業の邪魔になってしまい迷惑につながります。そのようなことを予防するためにも、事前にその日の天気や被害状況などは最低限調べておく必要があるでしょう。

さらに、ボランティアに行くときには装備品も重要になってきます。自分の安全を守るためのヘルメットや長靴はもちろんのこと、現地では泥出しや壊れた家財道具の搬出依頼も多いため、軍手や防塵マスクも必要になってきます。また、自分の身に何が起こるかわからないため、ボランティア活動中におこる様々な事故への対策として、事前にボランティア保険に入っておく必要があります。

NPO団体の中には、災害ボランティアを団体で行っているものもあります。活動を行いたいと思った時などには、あわせて調べるべきでしょう。

活動団体の紹介（傾聴ボランティアほほえみ）

傾聴活動により、人との繋がりを実感してもらい、自立的生活を支援することを目的として、約10年前から活動しています。

活動の中心は、高齢者福祉施設での傾聴活動をはじめ、技術を高める学習会や情報交換のための定例会などです。

高齢者と直に接し、お話しする楽しさ、喜び、それを通じてやりがいを実感しています。



■問い合わせ先

福津市ボランティアセンター Tel42-9071 Fax42-9072 E-mail fukutsu-vc@cap.ocn.ne.jp